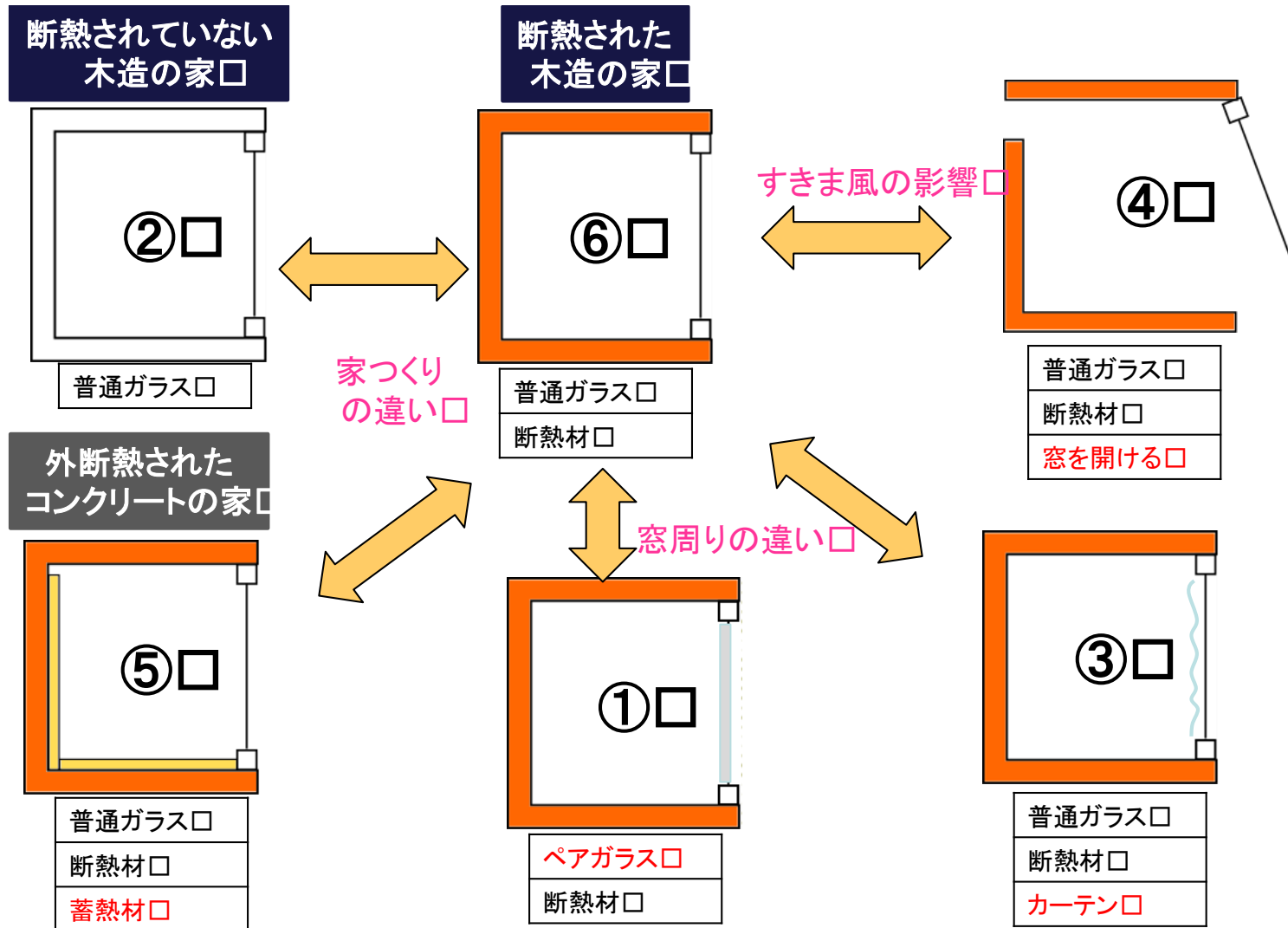
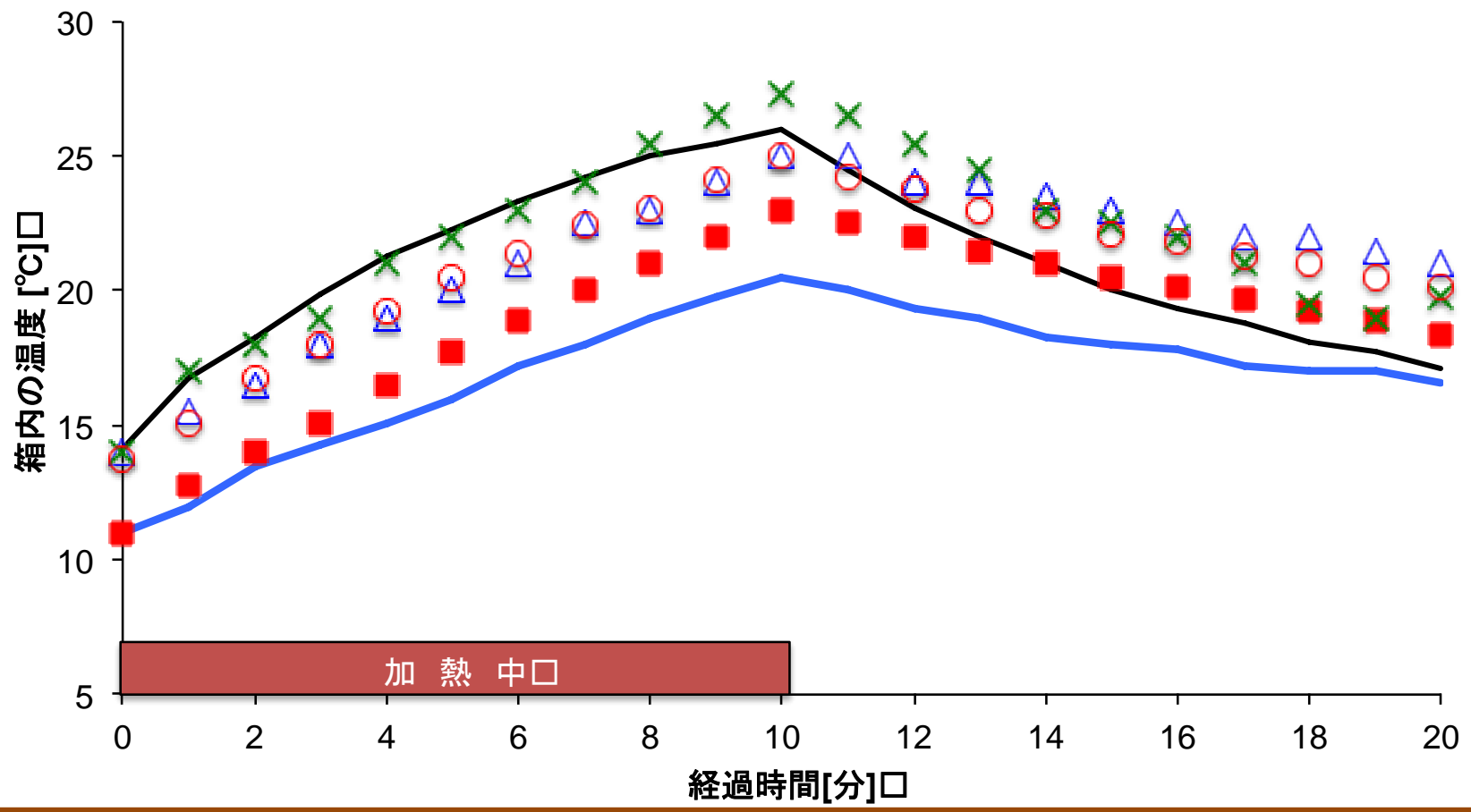


今回の実験ケース



模型実験全体の結果（箱内温度の時間変化）

- ①木造(現在)
- ②木造(40年前)
- △ ③木造(20年前)+カーテン[
- × ④木造(20年前)+隙間口
- ⑤コンクリート(20年前)
- ⑥木造(20年前)



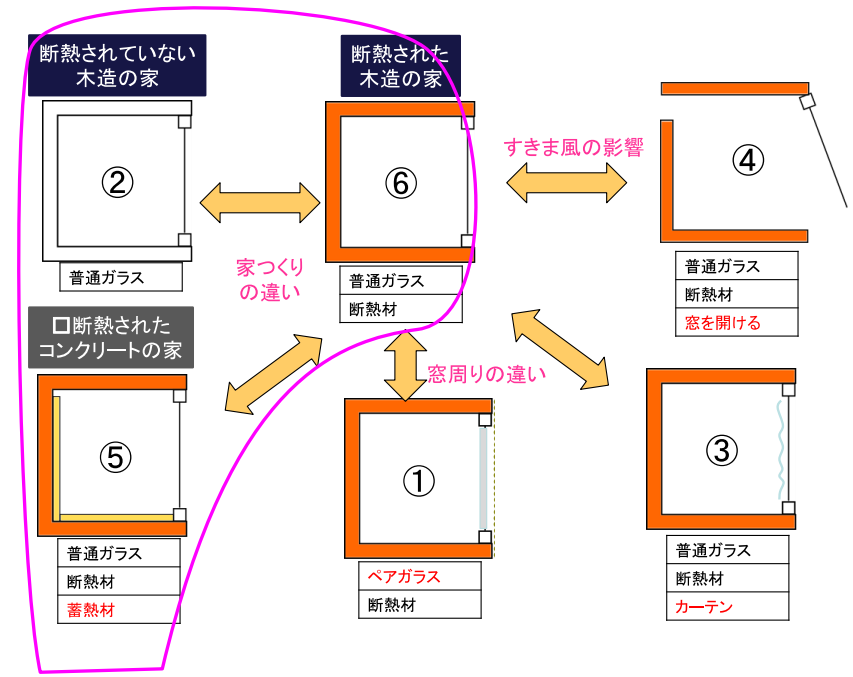
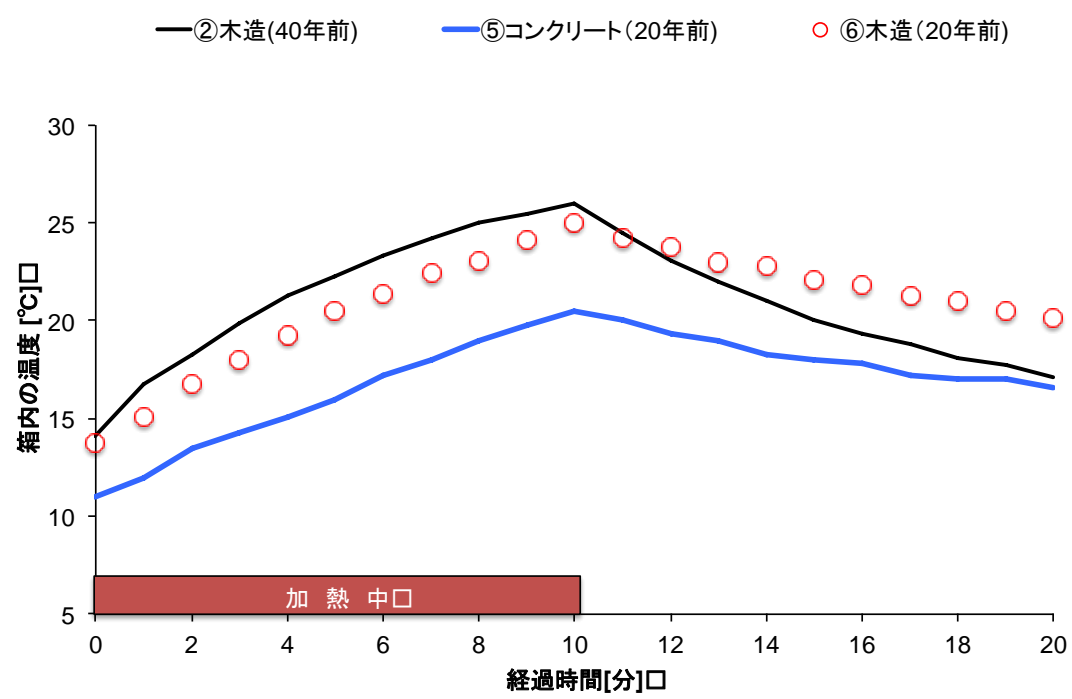
家の造りの違いの影響

・②の方が⑥より加熱後の**温度低下が早い**。

➡ ②の方が外の環境の影響を受けやすい(断熱材の無い壁で囲まれた家は冬寒い)

・⑤は全般的に他の家より**低温**。

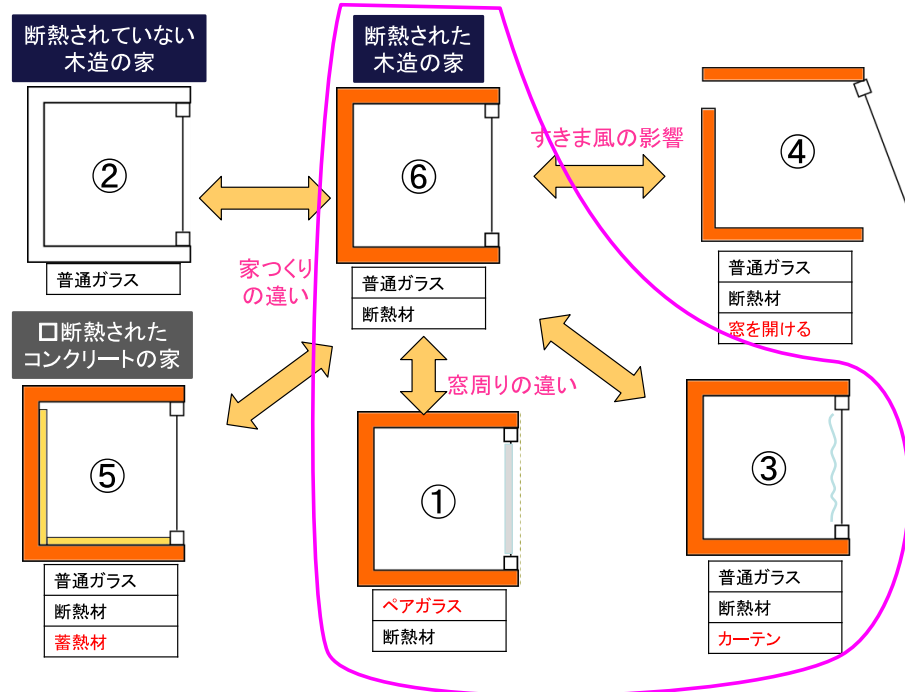
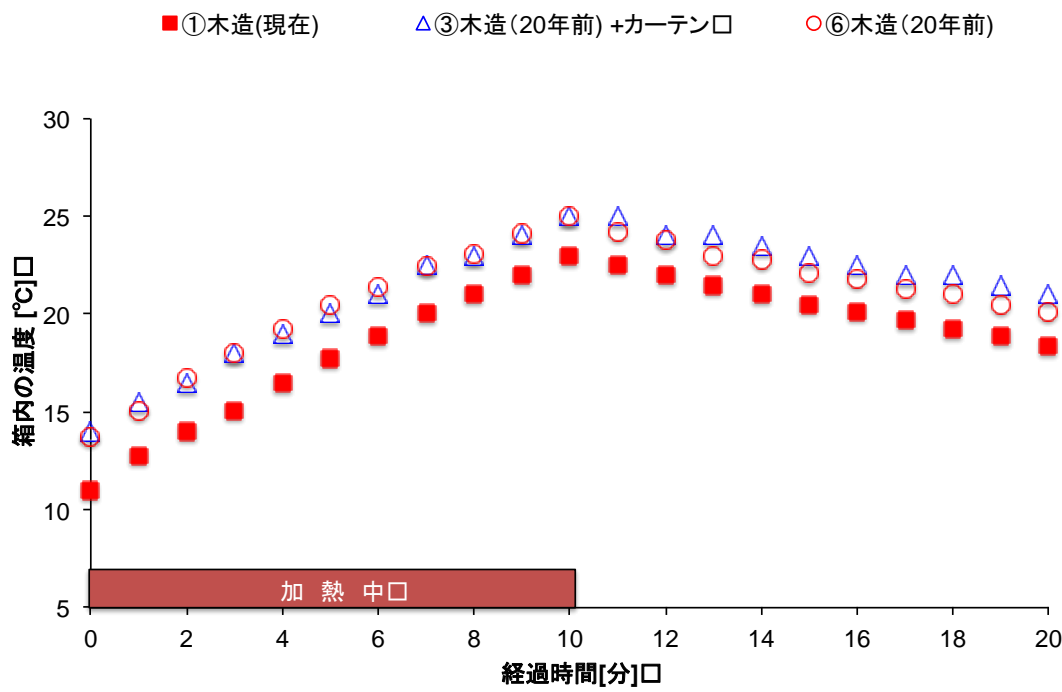
➡ コンクリートは温まりにくい(その分、冷めにくいという利点もあります)



窓周り違いの影響

・③の後半の温度低下はやや緩やか。

➡ カーテンと窓ガラスに挟まれた空間が断熱材の代わりになる。



すきま風の影響

・④は窓解放後、大きく温度が低下する。

➡ 空気の入出により、大量の熱が外に逃げていく。

・(みなさんへ宿題)

➡ 空気の入出は冬に暖かい家を保つ上でマイナスです。
でも、空気の入出が少なくなると困る問題は無いでしょうか？

